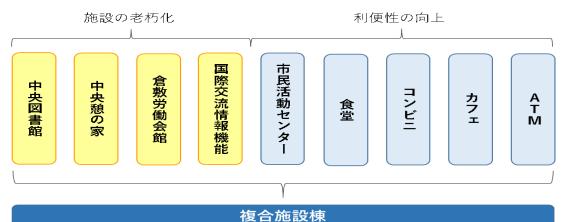
中央図書館を核とした 複合施設棟のコンセプト(案)

1 複合施設棟の概要について

本市では、令和3年4月に公表された倉敷市庁舎等再編基本構想(以下「基本構想」という。)に基づき、中央図書館を核として、市民活動センターや中央憩の家等の施設や機能を複合化して、生涯学習や市民活動等の拠点となる複合施設棟として新たに整備する予定としています。



2 倉敷市第七次総合計画、倉敷市教育振興基本計画等との関連性

複合施設棟は、倉敷市第七次総合計画、倉敷市教育振興基本計画等から、次のような施設であることが 求められています。

倉敷市第七次総合計画

・生涯学習講座への参加者数増

3

・1人当たりの市立図書館の貸出数増

コンセプト

倉敷市教育振興基本計画

- ・あらゆる世代に対応した学びの機会の提供
- ・学びの拠点となる生涯学習施設の機能充実

倉敷市立図書館運営基本方針

開かれた図書館として、幼児から高齢者まで、 すべての人々の利用に応える

倉敷市庁舎等再編基本構想

- ・生涯学習や市民活動等の拠点整備
- ・多機能複合化による利便性の向上

市民アンケートの概要

複合施設における中央図書館の在り方を検討する際の参考 資料とすることを目的として、令和4年2月28日から3月 28日にかけて、15歳以上の倉敷市民を対象に「複合施設 における図書館の在り方についてのアンケート」を実施しま した。

その結果、約7割の市民の方が過去1年間に市立図書館を 利用していないことや、利用している市民の方においても、 5割以上は年に数回程度しか利用していないこと等が明らか になりました。

このことから、<u>市立図書館を利用していない方が、利用したくなる(行ってみたくなる)図書館にすることが重要な課題であると考えています。</u>

複合施設における図書館の 在り方についてのアンケート

調査期間:R4.2.28~3.28

調査対象:市内に住所のある

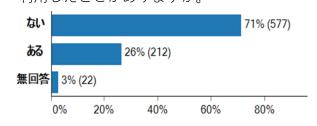
15歳以上の住民から 無作為抽出された2,000人

(有効回答:811人)

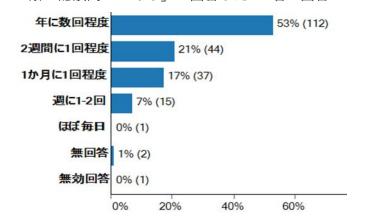
※アンケート結果は 教育企画総務課HP に掲載しています。 HPは



○過去1年間に倉敷市立図書館を 利用したことがありますか。



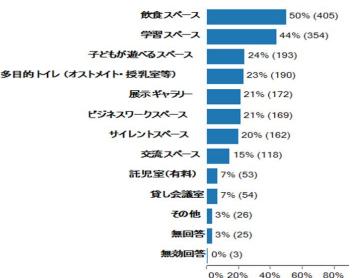
○倉敷市立図書館をどれくらいの頻度で利用しますか。 ※左記設問で「ある」と回答した212名の回答



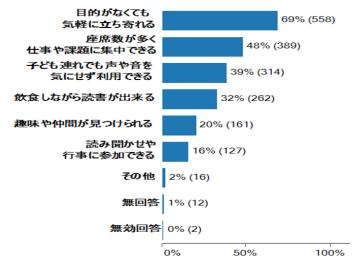
○新しい図書館には、どんな機能・サービスが あったらよいと思いますか。 (3つまで回答可)

Wi-Fi環境 51% (411) スマートアプリで電子図書の 47% (383) 予約・貸出・検索 本のセルフ貸し出し機・ 47% (379) 返却機 郵送貸し出し・宅配返却 27% (217) インターネットでの座席予約 18% (147) 予約した資料がセルフで 18% (144) 受け取り出来る機能 その他 3% (22) 無回答 4% (32) 無効回答 0% (3) 0% 40% 60%

○新しい図書館には、どんなスペースが あったらよいと思いますか。(3つまで回答可)



○新しい図書館は、どのような場所になれば よいと思いますか。 (3つまで回答可)



- 図書館にあったらよいと思う機能・サービスやスペースについては、<u>約5割の方が、Wi-Fi環境、本のセルフ自動貸出・返却機の導入や飲食・学習スペースを望んでいます。</u>
- 新しい図書館は、どのような場所になれば 良いと思うかについては、<u>約7割の方が、</u> 「目的がなくても気軽に立ち寄れる」と回答 しています。

このことから、新しい図書館は I C T を活用した新しい図書館サービスを提供することや、目的がなくても気軽に立ち寄れる心地よい空間にすることが必要であると考えています。

※「複合施設における図書館の在り方についてのアンケート」結果より抜粋。

中央図書館を核とした複合施設棟のコンセプト

(1) 中央図書館

4

倉敷市第七次総合計画などの市の上位計画、市民アンケートの結果、また実際に現場で働く図書館司書が、業務を行っていく中で考えた意見を踏まえ、中央図書館には次のような機能が求められていると考えています。

心地よい空間づくり

ひとりでもみんなでも居心地のいい空間、飲食スペース 学習スペース、市民ギャラリーの設置など

ICTを活用したサービスの提供

自動貸出機・返却機の設置、 インターネットでの座席予約、セルフ予約棚の導入など

多世代が集う場所の整備

豊富な子育て情報の提供、キッズコーナー、ティーンズ コーナーの設置など

倉敷再発見の取り組み

地域資料のデジタル化の推進、体験型展示の開催など

(2) 複合化となる他の施設

倉敷市第七次総合計画では生涯学習講座への参加者数増を、倉敷市庁舎等再編基本構想では多機能複合化による利便性の向上をそれぞれ目指していることから、<u>複合化となる他の施設については、多世代が交流し、利用者の増加につながる機能が求められている</u>と考えています。

(3) 複合施設棟全体のコンセプト

(1)・(2)を踏まえ、複合施設棟全体のコンセプトは、気軽に施設内で図書館の本を閲覧できる環境とすることで、利用者が図書館の本に触れる機会の増大を目指します。

また、各施設の「見える化」により他の施設利用を促進することで相乗効果を図るとともに、会議室の共用化により効率的な施設運営を目指します。

気軽に施設内で 図書館の本が閲覧可

図書館の本に触れる機会の増大を目指す



各施設の 「見える化」

他の施設の利用促進 による相乗効果を図る



会議室の共用化

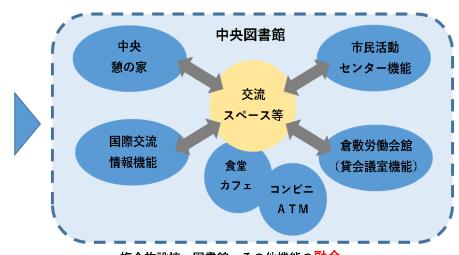
効率的な 施設運営を目指す

施設全体が図書館となるオープンな施設

上記コンセプトの実現に向けて、単なる施設の複合ではなく、各施設との「<mark>融合</mark>」を図りながら、 相乗効果による利用者の増加を目指します。

各施設の融合のイメージ





複合施設棟=図書館・その他機能の融合

5 今後のスケジュール

現時点における複合施設棟の整備スケジュールは次のとおりです。なお、今後、策定したコンセプトをもとに、ワークショップ等をはじめとして様々な市民の皆様の意見を伺いながら、基本計画の策定を進めていく予定です。

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
基本計画素案							
基本計画							
実施方針							
事業者選定							
設計							
施工							
開館							